

2024年12月 (No.426)

主な内容とページ

最高記録の更新ラッシュ、2024 年回顧.....	1
株価は 34 年ぶりの史上最高値更新	2
半導体は内外で巨額国家投資	2
半導体再興、ラピダスで資金問題.....	2
急変した EV 市場.....	3
活発だった M&A.....	3
上場、新規は 6 社、廃止は 11 社.....	7
右肩上がりの明暗、株価と国の借金(SRL だより)	9

最高記録の更新ラッシュ、2024 年回顧

今年も残すところわずか。どのような年だったか、まとめた。

1. 国家による半導体産業の振興策は「異次元の支援」(日本)、「バイデン政権下の1兆ドル投資」(米国)など具体化、工場の建設が進み今後の進捗、成果が注目される段階に入った。
2. 半導体市場は、世界、日本ともに史上最高額を更新、世界的に株価が高値を更新、わが国は34年ぶりに史上最高値を更新するなど半導体が世界経済のけん引役となった。
3. 世界的に普及が加速してきた電気自動車(EV)は需要が低迷。中国は1万ドル、2万ドル台の低価格車で先行、欧米の高関税でも競争力を確保。市場は混乱の様相を深めている。

右肩上がりの明暗、株価と国の借金

今年は株価が34年ぶりに最高値を更新、永かった水面下からようやく脱出した。今後は右肩上がりを期待したいが、同じ期間に国の借金も増え続け、1,300兆円近く。株価は上がって欲しいが、借金は減らさなければならぬ。どうにも頭が重くなる。

株価の高値更新は、失われた30年からの脱却を告げていると受け止めたい。大事なのは、この動きを持続、拡大させ成長を確保、これまでとは大きく変わることだろう。借金は、着実に減らすことが、健全な成長を裏付ける。皆がこのことを理解、出来ることを果たすことが求められよう。

「今、世界は少しおかしくなっている」と最近発言したトランプ次期米大統領だが、日本も同じ状況だろう。相次ぐ記録更新、それも好ましいものは持続、そうでないものは退治し、安心して暮らせる日本を、そして世界にする。失われた30年を過去のものとする2024年だったとしたい。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報をSRLの解釈と分析で表現したものです。 2024年 著作権所有 株式会社SRL

SRL Monthly Report

2024年12月(毎月1回発行)第35巻12号(通巻426号)

発行元: 株式会社SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2024

SRL Monthly Report

December 2024, No.426

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

個人利用購読料金1年分12号 107,800円(税込み)